

第35回 国公立27大学対校陸上競技大会

新型コロナウイルス流行に伴ったエントリー注意事項

本大会は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を配慮したうえでの大会運営となります。社会から十分な理解を得られる開催方法を確保して初めて、全国規模の競技会の開催が可能となります。そのためには、競技者・監督・コーチ等、関係者一人一人の意識と行動が必要となることをご確認のうえ、以下の各点について、ご理解・ご協力をお願いいたします。

①大会の開催条件と健康管理・感染予防について

大会の開催は、以下に記載した条件を満たしていることが最低条件となります。条件を満たない場合は、大会中止という判断もあり得ますことをご承知おきください。

1. 緊急事態宣言が解除されていること
 - ① 移動制限の解除
 - ② 不要不急の外出自粛の解除
 - ③ 店舗営業自粛の解除
 - ④ 学校における部活動が認められている
2. 競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められていること
3. 医療機関に新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応の余裕がある状態であること
(医療体制および一般診療・救急診療体制に問題ない)
4. 競技会に関わる全ての人(審判員・競技者・コーチなど)の健康状態の管理体制が整っていること

特に 4 については、本大会に出場する競技者はもちろん、当日競技会会場に入場する大学関係者も対象となります。大会開催の 2 週間前から大会終了後 2 週間の間、1 日 2 回の検温及び健康状態の確認を行ってください。大会前ならびに大会期間中、健康状態に異変がある方のご入場はお断りします。

また、各大学は 1 日ごとにチーム関係者の健康状態の管理を行い、全員が健康であることを確認したという監督又は代表者の署名入りの用紙を、毎朝あるいは競技場到着後、直ちに競技者受付へ提出してください。用紙については後日別紙を掲載致します。必要部数をコピーしてお使いください。形式的に用紙を提出するだけとなることがないように、実際に検温等の体調管理を実施し、その結果を報告するよう、ご協力をお願いいたします。

競技場に入場する方は、原則として、マスクを着用していただきます。競技者については、ウォームアップ及び競技の最中はマスクを外していただいて結構です。ただし、フィールド競技における試技の待ち時間はマスクを着用してください。競技役員も、審判活動の支障になる場合はマスクを外していただいて結構です。ご理解・ご協力をおねがいします。

手指の消毒ですが、各ゲートや招集所入口などに消毒液を配置しますので、特別な理由がない限り、必ず手指の消毒をお願いします。また、石鹸を利用したこまめな手洗いも奨励します。

各大学の集団応援については禁止といたします。大声で応援する等の感染リスクの高い行動は控えていただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が、万が一、発症したと疑われる場合は、医療機関へ連絡するとともに、大会本部あるいは国公立大学陸上競技連盟までご連絡ください。その場合、健康状態の確認表の提出や大会期間中などの行動記録を確認する場合があります。

新型コロナウイルス感染症の防止にご協力ください。

②競技について

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を配慮した結果、競技方法が従来と変わりますのでご理解いただき、ご協力ください。

・フィールド種目長さを競う競技は、前半2回後半2回の試技、高さの競技は跳躍回数を8回に限定して競技を行う。

競技種目	出場人数・競技実施方法
100m・200m・400m・800m	予選でタイム上位8名が決勝進出 (? - 0 + 8)
1500m・110mH・100mH・400mH	予選で着取り + α が決勝進出 (1500mは15名、それ以外の種目は8名)
4×100mR・4×400mR	予選で着取り + α が決勝進出(8チーム)
5000m・10000m・3000mSC・ 10000mW	タイムレース決勝
走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤 投・ハンマー投・やり投	前半2回でTOP8を選び、後半2回。
走高跳・棒高跳	従来のルールに加え、8回試技を行ったら、競技終了。
混成競技	走幅跳・砲丸投・円盤投・やり投は2回の試技で、走高跳・棒高跳は従来のルールに加え、8回試技を行ったら、競技終了。
オープン種目	人数制限80名を設ける 80名を超えた場合については検討中

ロールコールの場所、時刻等についても現在検討中です。密集状況をなるべく避けるための工夫を検討中ですので、プログラム記載の競技注意事項を熟読したうえで、競技にご参加ください。